京都府立医科大学大学院保健看護学研究科 カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）

看護学を中核として、個人から地域社会における生活者の健康や、疾病の連続性に適応した予防活動・人間の健康維持に必要なケアと環境改善への支援を行う領域を「保健看護学」と位置づける。

<博士前期課程>

- (1) 最新のエビデンスに基づいた保健看護学の理論と方法論を構築できる基礎的能力を身につけられるよう共通科目、専門科目を体系的に配置する。
- (2) 専門性と倫理観に裏づけられた実践能力を備えた看護師や教育指導者の養成と学術的研究の充実を図るための各専門領域の目標に対応した専門科目および特別研究、専門演習を配置する。
- (3) 専門看護師コース（がん看護、精神看護）においては、卓越した実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究の役割を遂行し、ケアシステム全体の質向上に寄与する専門看護師を養成するために、特定の専門看護分野における最新の知識及び技術を深めるための専門科目及び演習、実習、課題研究を配置する。

<博士後期課程>

- (1) 保健看護学の発展に寄与できる、理論構築やケアシステムの開発のための研究能力、教育能力、実践能力を身につけられるよう科目を体系的に配置する。
- (2) 人々の保健・医療のニーズに対応し、生活の質を支える基盤となる健康の保持増進と疾病を予防するために、科学的な視点から常に良質な看護ケアおよび保健サービスを提供するための自立した研究活動や教育ができる能力を養う共通科目を配置する。
- (3) 保健看護学における教育研究者や、高度な専門実践の指導者として必要な理論や概念、さらに自立した研究や実践活動に向けた能力を養う専門科目を配置する。
- (4) 専攻分野についての専門的知識の深化と課題解決能力の開発、新たな理論を構築するための、特別演習、特別研究を配置する。